

シングルレバーカートリッジ

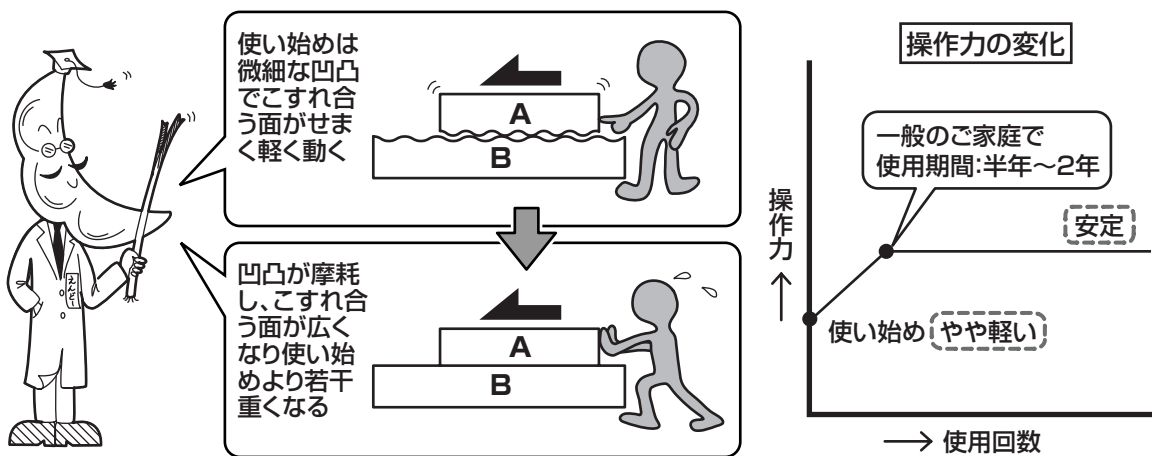
TH537型
TH552型・THY552型
TH582型・THY582型

この施工説明書は、上げ吐水タイプ・下げ吐水タイプのカートリッジ取替要領について説明しています。商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

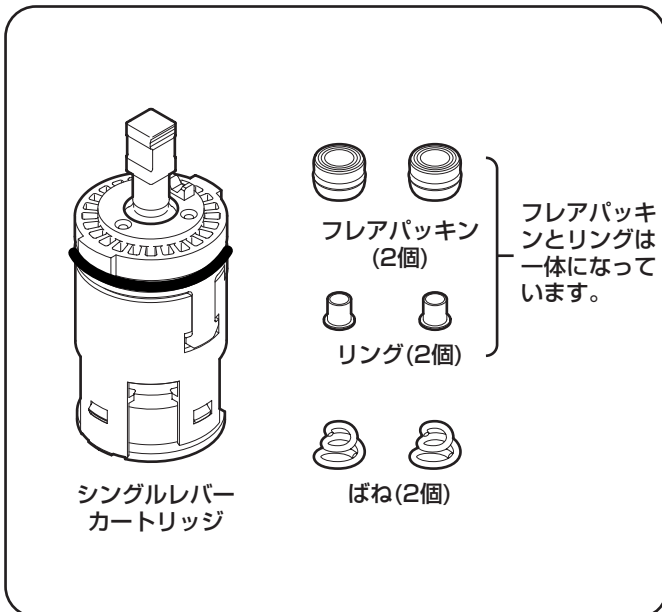
シングルレバー混合栓のハンドルを動かすときの操作感は、使い始めはやや軽く、使っていくうちに安定してきます。これはご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

部品（セラミックバルブ）のなじみ

レバーハンドルを上下または左右に動かすとき、図のAとBの部品がこすれ合います。



1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

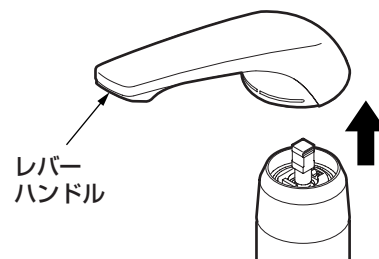
2-1 取替方法

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

⚠ 注意	
<p>必ず実行</p>	<p>カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う</p> <p>高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

1 レバーハンドルの取り外し

レバーハンドルを上引き抜く。

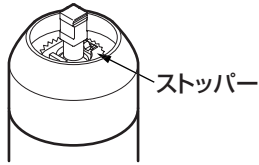


2 カートリッジ押さえの取り外し

注意

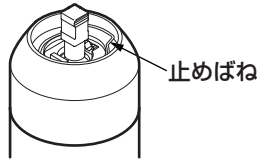
カートリッジ押さえのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り外してください。

ストッパータイプ



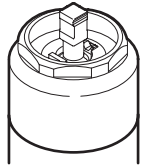
ストッパー

ストッパータイプ 止めばね付き

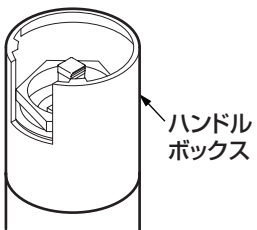


止めばね

六角タイプ



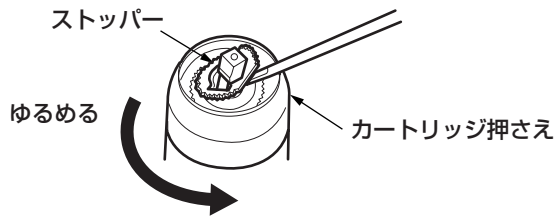
ボックスタイプ



ハンドルボックス

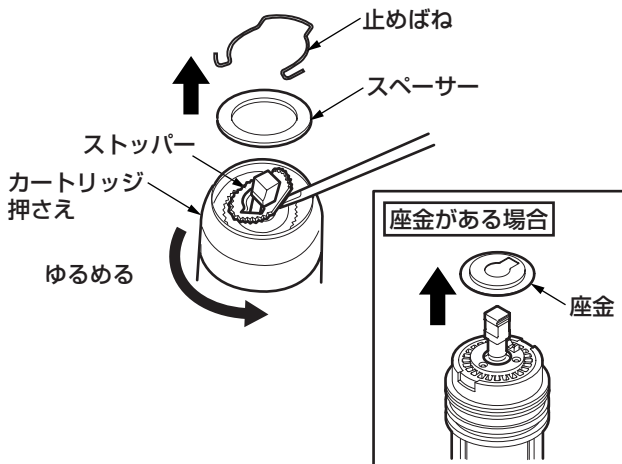
ストッパータイプ

- ① マイナスドライバーなどでストッパーを外す。
- ② カートリッジ押さえを手でゆるめて取り外す。



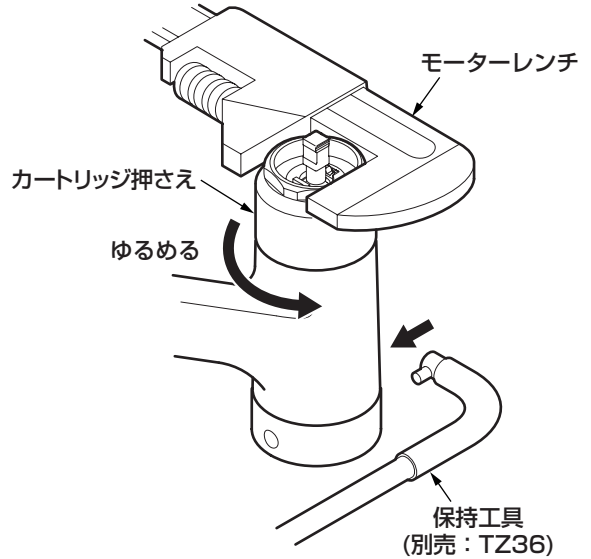
ストッパータイプ 止めばね付き

- ① マイナスドライバーなどで止めばね、スペーサー、ストッパーの順に外す。
- ② カートリッジ押さえを手でゆるめて取り外す。
- ③ カートリッジの上に座金がある場合は座金を取り外す。(取り外した部材は再使用しますので、捨てないでください)



六角タイプ

モーターレンチなどでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。



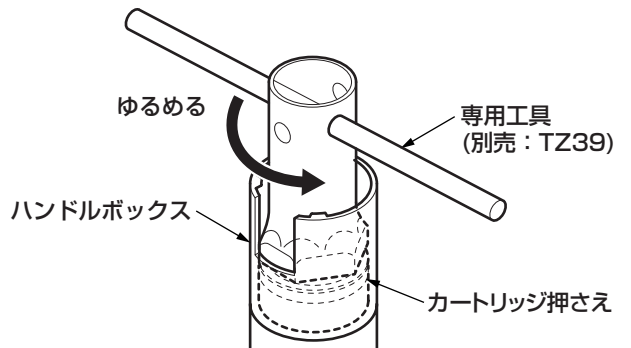
注意

水栓が回らないように固定して取り外してください。
 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓を固定してください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

ボックスタイプ

専用工具(別売:TZ39)でカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。

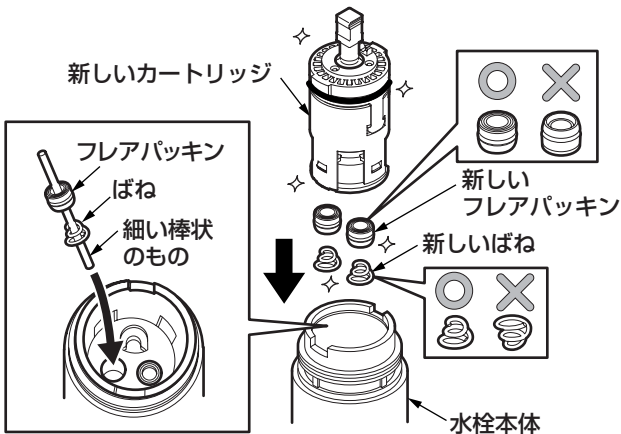


3 カートリッジの交換

- ①カートリッジを取り外す。
- ②フレアパッキン・ばねを取り外す。
- ③新しいばね・フレアパッキンを向きに注意し、細い棒状のものを使用して水栓本体の穴に取り付ける。
- ④ばね・フレアパッキンを指で押し込み、固定する。

注意

- 必ず同梱の新しいばね・フレアパッキンに交換してください。
- ばね・フレアパッキンの向きに注意してください。



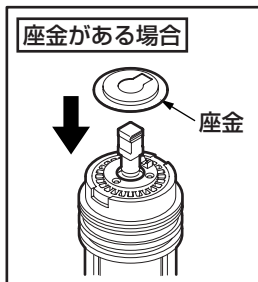
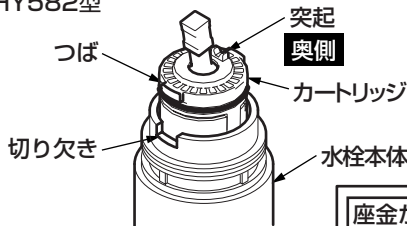
- ⑤カートリッジのつばと水栓本体の切り欠きを合わせて、押し込む。
- ⑥「2 カートリッジ押さえの取り外し」で座金を取り外した場合は、取り外した座金を突起に合わせて取り付ける。

注意

- カートリッジのつばは、前後で大きさが異なるので方向に注意してください。
- 下げ吐水タイプの場合は突起の方向が逆になります。
- 座金の向きに注意してください。

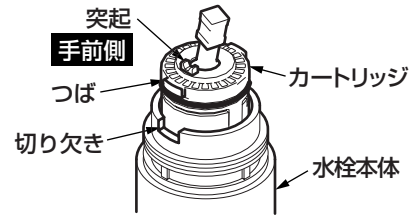
上げ吐水タイプ

TH537型
TH582型
THY582型



下げ吐水タイプ

TH552型
THY552型



4-1 カートリッジ押さえの取り付け

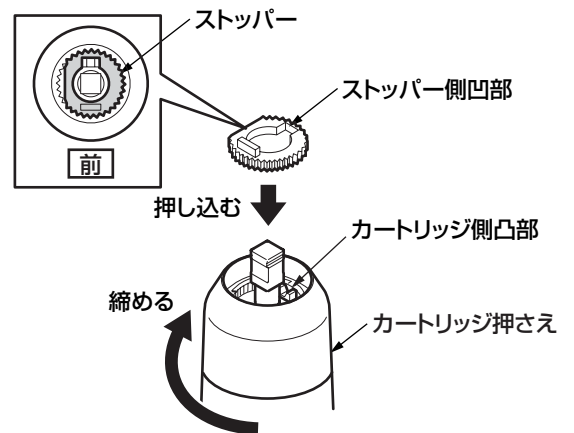
ストッパータイプ

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて、ストッパーを強く押し込む。

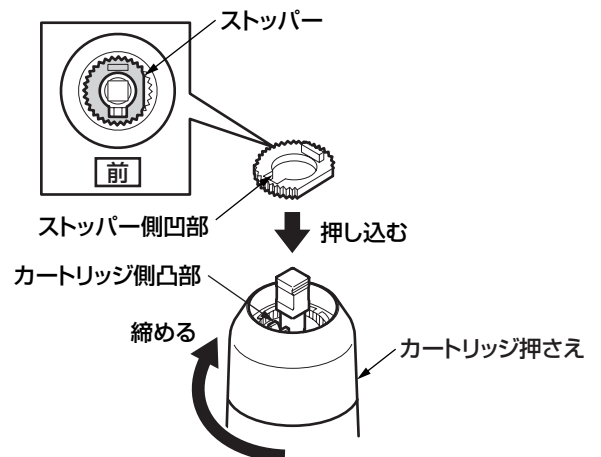
注意

カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込む方向** に回して歯を合わせるように調整してください。

上げ吐水タイプ



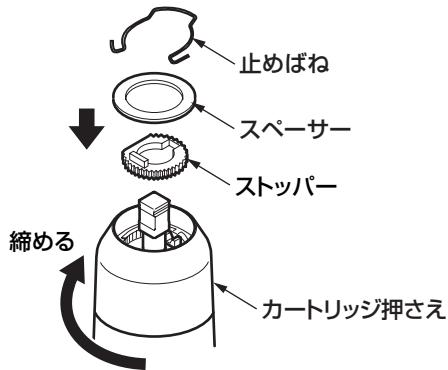
下げ吐水タイプ



4-2

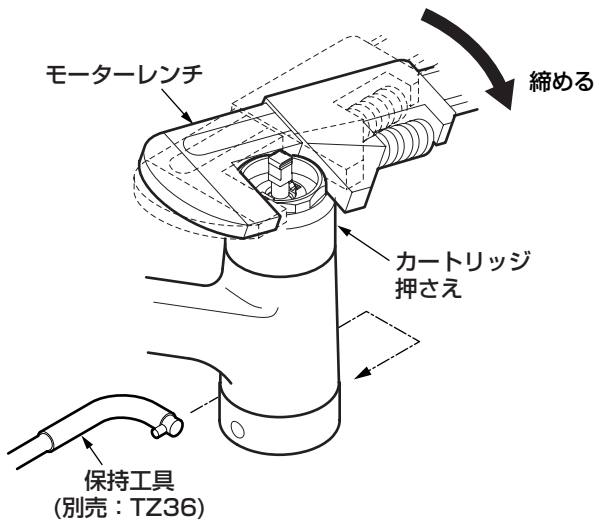
ストッパータイプ止めばね付き

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて、ストッパーを強く押し込む。
(ストッパータイプを参照してください)
- ③スペーサー、止めばねの順に取り付ける。



六角タイプ

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②モーターレンチなどでさらに15°ぐらい回して、確実に締め付ける。**締付トルク 約15N・m**



注意

水栓が回らないように固定して締め付けてください。

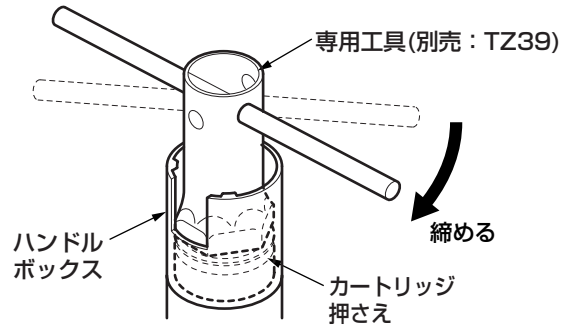
本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売: TZ36)で水栓を固定してください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

4-3

ボックスタイプ

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②専用工具(別売: TZ39)でさらに15°ぐらい回して、確実に締め付ける。**締付トルク 約15N・m**



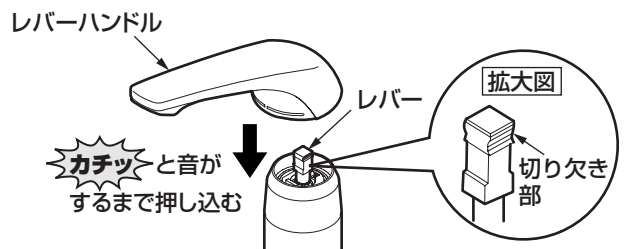
5 レバーハンドルの取り付け

- ①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。

レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



注意

重要

カートリッジ交換後は、必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、通水および水漏れがないか確認してください。